

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和06年12月17日

計画の名称	姫路市における循環のみち実現（４）												
計画の期間	令和０７年度　～　令和１１年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	姫路市												
計画の目標	下水道の整備を推進し、安全・安心、快適な暮らしを実現するとともに、良好な水環境を創造する。												
全体事業費（百万円） 合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） 1,310 A 1,300 B 0 C 10 D 0 効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） 0.76 %													

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R7当初）	（R9末）	（R11末）
1	下水道処理人口普及率を93.3%（R5）から94.0%（R11）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	933（×0.1）%	937（×0.1）%	940（×0.1）%
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（524,149人 R5年度末）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	管渠（ 汚水）	新設	管路新設事業（中部処理 区他）	分流管新設 φ200～600・M P 設備 新設・増設	姫路市	■	■	■	■	■	800		-	
	A07-002	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	終末処 理場	新設	処理場新設・増設事業（ 中部処理区他）	終末処理場・前処理場 新設 ・増設	姫路市	■	■	■	■	■	200		-	
	A07-003	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	ポンプ 場	新設	ポンプ場新設・増設事業 （中部処理区他）	ポンプ場 新設・増設	姫路市	■	■	■	■	■	100		-	
	A07-004	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	-	新設	汚水調整槽 新設事業（ 中部処理区他）	汚水調整槽（流量調整施設） 新設	姫路市	■	■	■	■	■	200		-	
												小計						1,300		
											合計						1,300			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	C07-001	下水道	一般	姫路市	間接	個人	-	-	被保護世帯水洗化助成事業	水洗化工事	姫路市	■	■	■	■	■	10	-	
		被保護世帯に水洗化を促し、水洗化率向上を図り健全な都市活動を確保することができる。																	
											小計						10		
											合計						10		

事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における循環のみち実現（４）

事前評価		チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性		
上位計画等との整合性 １）上位計画（流総計画、都市計画、公害防止計画等）との整合性が確保されている。		○
Ⅰ．目標の妥当性		
上位計画等との整合性 ２）下水道の諸計画（流域下水道事業計画、公共下水道事業計画等）との整合性が確保されている。		○
Ⅰ．目標の妥当性		
上位計画等との整合性 ３）関連する諸計画（総合計画、生活排水処理計画等）との整合性が確保されている。		○
Ⅰ．目標の妥当性		
地域の課題への対応 １）地域の課題を踏まえて目標が設定されている。		○
Ⅰ．目標の妥当性		
地域の課題への対応 ２）必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と定量的指標の整合性 １）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
定量的指標の明瞭性 １）指標と数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性 １）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性 ２）目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果 １）十分な事業効果が確認されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果 ２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境 １）計画の具体性など、事業の熟度が高い。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境 ２）関連する関係機関等の調整が、図られている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
地元の機運 １）事業実施に向けた機運がある。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
地元の機運 ２）計画について住民等との間で合意が形成されている。		○

(参考図面)

